

# 引き継がれる家

30年。その位の歳月を過ぎると家はその土地の風景になります。家は周囲に景色として溶け込み、大きく育った庭木は家々を繋ぎ、単調になりがちな景色を鮮やかに彩ります。その一方で外壁や屋根は痛みだし、塗り替えや取り替えが必要になってきます。永遠に保てるものは無く、そうやって手を入れていく事で家に対する愛着も深まっていくものだと思います。

ただ、家の中は簡単にはいかない。歳月は人を変えるし、家族の構成も随分と変わります。設備機器も進化し30年も経つと全く違う物にすらなっています。

今回は築後約30年経った家を綺麗にし、2世代目にも末長く健康に住める様にとリノベーションの依頼がありました。

ご家族は4人で、通常この規模では一旦お引越しをお進めするのですが、ご家族の希望で住みながらの工事になりました。



最初にダイニングキッチンですが、家族全員と来客者が一度に食事できる空間を確保。鍋やプレートを囲む機会が多いらしいのでダイニングの照明は高性能の換気装置がついてる物を設置。水回りの湿気や匂い対策に壁一面にエコカラットを貼っております。フラットなアイランドキッチンは料理の給仕や片付けの効率を上げ、頓雑になりがちなシンク周りを常に綺麗に保つというモチベーションを維持させます。一部に柱が現しになるので、デザイン上その繋がりがあのかの様に化粧梁を造作しました。空間の引締め役に役立っていると思います。

壁面を向いていたキッチンはアイランド型にしてリビングの方に向けました。

壁面にはバラバラだった収納を撤去し、大きなカップボードを設置した事で家電、食器、料理の道具を全てすっきりと収納できました。

床はタイル張りです。使用にあたっては注意が必要ですが、夏場はひんやり、冬場は高い熱伝導性で床暖房も良く効きます。

何より仕上がりの高級感がクッションフロアやフローリングに比べると桁違いに上がりました。

キッチンの照明は分散と集中で、必要な場所をより明るく、そうでない所は明かりを控えたので、メリハリのある空間になりました。



階段下のトイレは天井を上げ圧迫感を改善しました。

壁についていた手洗いは撤去し、新しく手洗いカウンターを新設。

既製品ではサイズが合わなかった為、現場造り付けで製作しました。

湿気と匂い対策としてエコカラットを壁一面に貼り付けしました。

リビングにはインテリアに合うTVボードを造り付け家具として製作しました。

材質はタモ集成材で建具はハッチダウン式で非常に使いやすい仕様です。

内部壁裏にコンセント、ケーブル類を隠蔽配線しており、余計な線が表に出ない様になっています。

